



2021年2月9日

各 位

会社名 株式会社ヨコオ  
代表者名 代表取締役兼執行役員社長 徳間孝之  
(コード番号6800 東証第1部)  
問合せ先 取締役兼執行役員専務 深川浩一  
(TEL 03-3916-3111)

### 連結業績予想の修正に関するお知らせ

2020年11月10日に公表しました2021年3月期通期の連結業績予想につきまして、下記のとおり修正いたしますので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 通期(2020年4月1日～2021年3月31日)の連結業績予想の修正

##### (1) 修正の内容

	前回発表予想(A) (2020年11月10日 公表)	今回修正予想 (B)	増減額 (B-A)	増減率(%)	(ご参考)前記実績 (2020年3月期)
売上高(百万円)	58,000	59,500	+1,500	+2.6	60,595
車載通信機器	35,700	37,000	+1,300	+3.6	39,264
回路検査用コネクタ	13,000	13,200	+200	+1.5	12,832
無線通信機器	9,300	9,300	—	—	8,498
営業利益(百万円)	4,800	5,000	+200	+4.2	4,916
経常利益(百万円)	4,400	4,400	—	—	4,583
親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	3,150	3,200	+50	+1.6	3,440
1株当たり当期純利益 (円銭)	155.08	152.51	—	—	169.85

##### (2) 修正の理由

通期の業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の実績及び直近の受注見通しを踏まえ、全社売上高及びセグメント別売上高を前記(1)のとおり修正いたします。営業利益につきましては、車載通信機器セグメントにおいて増収に伴う増益の一方で、世界的な半導体不足による調達価格高騰及び海上運賃高騰等による物流費増加により、損益は横ばいを見込み、回路検査用コネクタセグメントにおいては、円高が収益の下押し要因となりますが、増収及び利益率改善により若干の増益を見込んでいることから、前記(1)のとおり修正いたします。経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、想定為替レート1米ドル=103.5円(前回予想時は1米ドル=105円)のもと、為替差損等営業外費用600百万円を見込み、前記(1)のとおり修正いたします。

なお、想定為替レートは、本年2月以降当期末まで1米ドル=103.5円としております。

(注) 本資料に記載の予想数値は、公表日現在入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上